



2008 年 10 月 21 日

BMW 全モデルに“BMW EfficientDynamics”ステッカー導入。

- **BMW 全モデルのリヤ・ステッカーを一新。**
- **エコロジーとダイナミックなドライビングの両立を表現。**

ビー・エム・ダブリュー株式会社(本社:東京都千代田区丸の内 1-9-2、代表取締役:ヘスス・コルドバ)は、BMW 全モデルのリヤ・ウィンドーに貼付されるステッカーを一新します。これまで貼付されていた「Freude am Fahren(駆けぬける喜び)」から、新しく「**BMW EfficientDynamics(エフィシエント・ダイナミクス)**」に一新されます。10 月中旬以降順次お客様にお届けする車両が対象となります。

「BMW EfficientDynamics(エフィシエント・ダイナミクス)」とは、燃料消費・排出ガスを削減しつつ、かつ「駆けぬける喜び」を実現する BMW の最先端開発技術の包括的コンセプトです。

BMW グループは、現在のように CO₂ が地球温暖化ガスとして問題視される以前の 1980 年代から現在まで、高効率の車上エネルギーマネジメントおよび排出ガスマネジメントに果敢に取り組み市場に導入すると同時に、電気自動車、水素自動車を含む内燃機関の次世代エネルギーについて様々な先端技術を開発してきました。

今後はこの新しい「EfficientDynamics」により、高いレベルの燃料消費マネジメント及び排出ガスマネジメントと「駆けぬける喜び」を両立させる BMW グループの最先端の技術力とその製品をメッセージします。

旧ステッカー

「駆けぬける歓び(Freude am Fahren)」は、ビー・एम・ダブリュー株式会社が 1985 年設立されて以来、多くのお客様に愛された、BMW 製品の特徴を現すコンセプトキャッチフレーズです。

<旧ステッカー>



新ステッカー

新しいロゴマーク: “EfficientDynamics” 英語の二つの単語、“Efficient”と“Dynamics”を連結させた造語です。ロゴマークはそれぞれのアルファベット頭文字、“e” と“d”を巧みに組み合わせたインパクトある意匠デザインです。

<新ステッカー>



「BMW EfficientDynamics(エフィシエント・ダイナミクス)」のコンセプトは持続可能なモビリティの可能性を示唆するもので、その戦略は短期的、中期的、長期的の 3 つの段階に基づいています。

EfficientDynamics(エフィシエント・ダイナミクス)の戦略概要-3 つの段階-

1. 短期的戦略: エンジンの高効率化、革新的な軽量構造、進化した空力

既存の内燃機関の効率をさらに高めたエンジン、革新的な軽量構造、進化した空力などにより、車両の燃費および排出ガスを大幅に削減します。これらの技術は既に既存の BMW モデルに反映されており、全世界での累計販売台数は既に 100 万台を突破しています。また、この EfficientDynamics に基づいた技術を市販モデルに反映させることで、BMW グループは、1995 年から 2008 年までの間に欧州での CO₂ フリート排出量を 25%も低減することに成功しています。

2. 中期的戦略: ハイブリッド技術を活用

BMW グループではハイブリッド車の可能性を EfficientDynamics の包括的なコンセプトの中の中期的な戦略の中に組み込んでおり、既に 2009 年後半にハイブリッド・システムを採用したモデルを世界市場に投入することを発表しています。ハイブリッド・シ

ステムを搭載した BMW のモデルは内燃機関だけで走行する車両と比べると 20% 以上も燃費を削減します。

3. 長期的戦略： BMW クリーン・エネルギー

BMW グループは持続可能なモビリティについての研究を早い段階から進めており、1980 年代から究極の代替エネルギーである水素で駆動するエンジンの研究を行ってきました。将来性が高くても、ガソリンや天然ガスなどの炭素含有化石燃料の使用には資源枯渇のリスクと地球温暖化の原因となる CO₂ 排出が伴います。しかし、水から生成可能な水素は枯渇する心配がありません。また、燃焼の結果排出されるのは水蒸気だけです。

2007 年 7 月には世界初の量産型水素自動車 BMW Hydrogen7 の日本全国主要都市でのデモンストレーション走行を実施。水素エンジンの技術が完成していることを実証しました。

添付資料) 日本仕様モデルに導入されている EfficientDynamics の代表的なテクノロジー